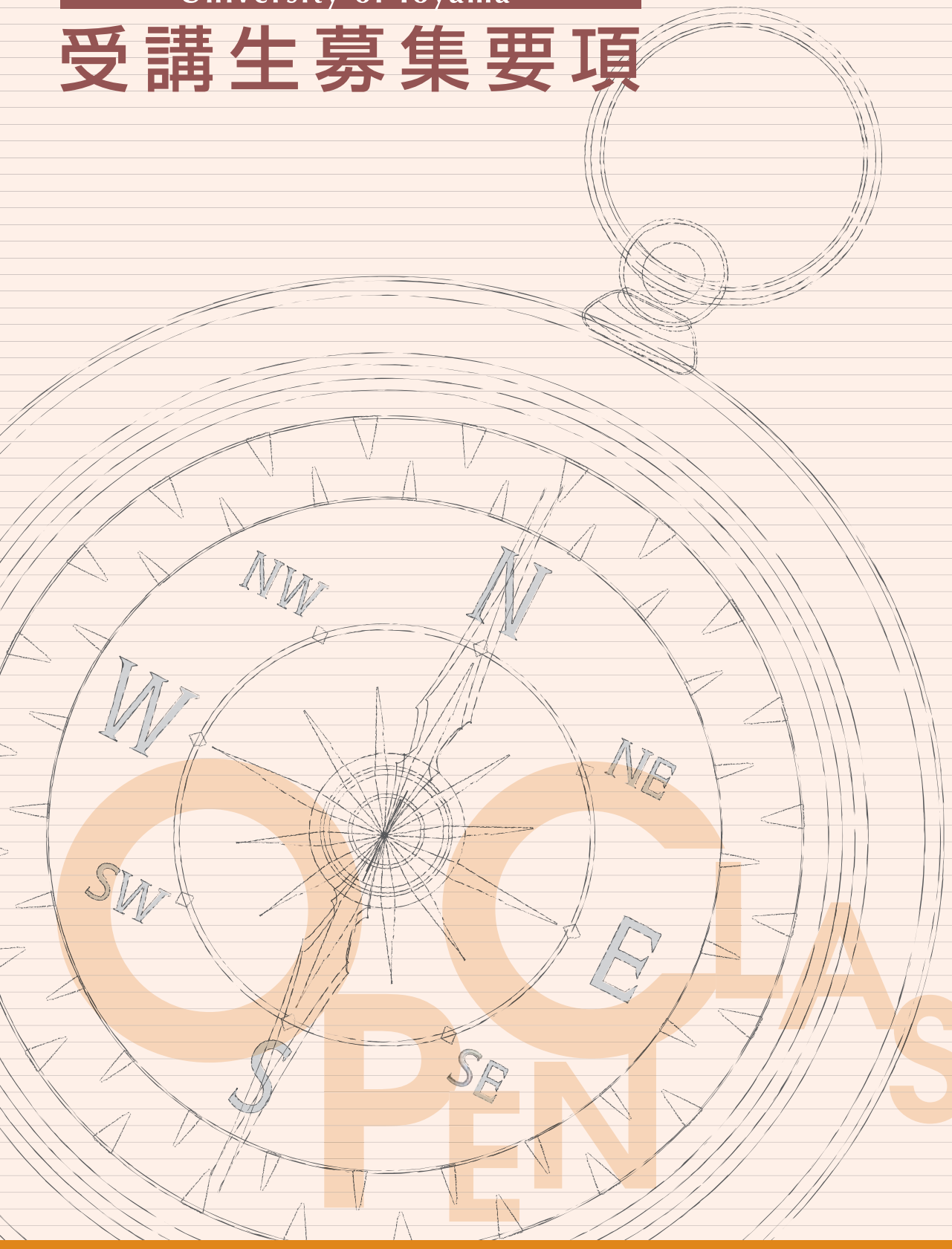
平成25年度 後学期

富山大学 オープン・クラス

University of Toyama

受講生募集要項

富大生と一緒に学べます！



富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

平成25年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス	高岡キャンパス	杉谷キャンパス
授　　業	10月2日(水)～12月24日(火)		10月2日(水)～12月20日(金) 医学科2～4年次のみ 9月24日(火)～12月25日(水)
冬季休業	12月25日(水)～1月6日(月)		12月21日(土)～1月5日(日) 医学科2～4年次のみ 12月26日(木)～1月5日(日)
授　　業	1月7日(火)～2月3日(月)		1月6日(月)～2月3日(月)
補講・試験	2月4日(火)～2月10日(月)		2月4日(火)～2月17日(月)
備　　考	＊1月17日(金)は大学入試センター試験準備のため休講とします。		
	＊11月6日(水)は月曜日の授業を行います。 ＊12月24日(火)は月曜日の授業を行います。 ＊1月16日(木)は月曜日の授業を行います。		＊11月6日(水)は月曜日の授業を行います。 ＊1月16日(木)は月曜日の授業を行います。

授　業　時　間

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜1限 （6限）	夜2限 （7限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、各学部及び教養教育(注1)（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

なお、「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生(注2)として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注1）本学の教養教育は、全教員で担当するという、いわゆる「全学出動方式」により実施されています。
（注2）「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 4
Ⅱ　受講手続 …… 5
Ⅲ　受講に際して …… 6
Ⅳ　その他 …… 7
オープン・クラス授業科目一覧
○教養教育 …… 9
○専門科目
・人文学部 …… 11
・人間発達科学部 …… 14
・経済学部、大学院経済学研究科 …… 17
・理学部 …… 19
・工学部 …… 22

高岡キャンパス

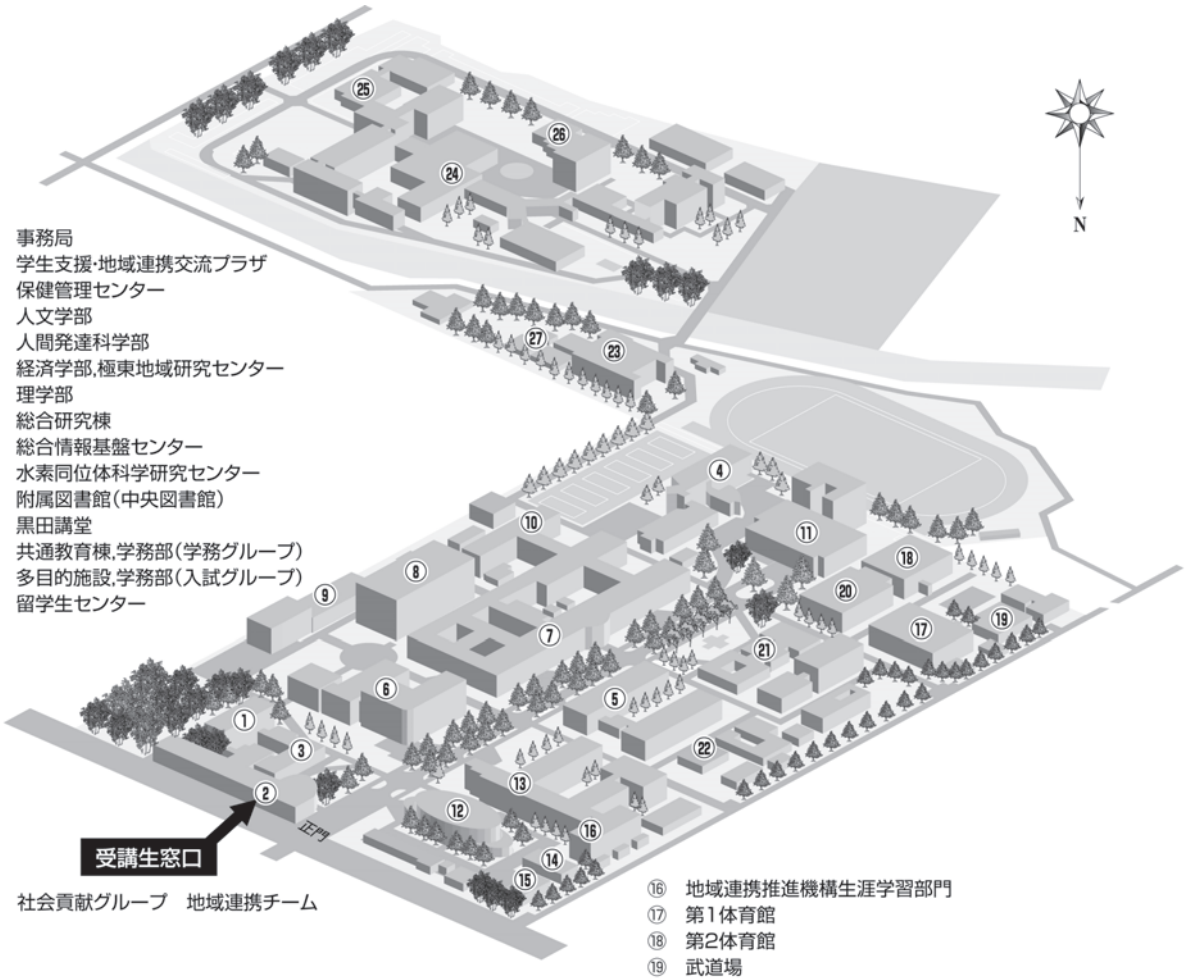
Ⅰ　実施形態 …… 28
Ⅱ　受講手続 …… 29
Ⅲ　受講に際して …… 30
Ⅳ　その他 …… 31
オープン・クラス授業科目一覧
・芸術文化学部 …… 32

杉谷キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 34
Ⅱ　受講手続 …… 35
Ⅲ　受講に際して …… 36
Ⅳ　その他 …… 37
オープン・クラス授業科目一覧
○教養教育 …… 38
○専門科目
・医学部 …… 38

受講希望調書 …… 39

五福キャンパス



① 事務局
② 学生支援･地域連携交流プラザ
③ 保健管理センター
④ 人文学部
⑤ 人間発達科学部
⑥ 経済学部,極東地域研究センター
⑦ 理学部
⑧ 総合研究棟
⑨ 総合情報基盤センター
⑩ 水素同位体科学研究センター
⑪ 附属図書館(中央図書館)
⑫ 黒田講堂
⑬ 共通教育棟,学務部(学務グループ)
⑭ 多目的施設,学務部(入試グループ)
⑮ 留学生センター

社会貢献グループ　地域連携チーム

⑯ 地域連携推進機構生涯学習部門
⑰ 第1体育館
⑱ 第2体育館
⑲ 武道場
⑳ 大学食堂
㉑ 学生会館,学務部(学生支援グループ,就職支援グループ)
㉒ 人間発達科学研究実践センター
㉓ 第3体育館
㉔ 工学部
㉕ 地域連携推進機構産学連携部門
㉖ 第2大学食堂
㉗ 学生支援施設

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（Ｐ９～Ｐ 22 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 25 年 10 月２日（水）～ 平成 26 年２月３日（金）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 25 年度後学期授業日程」でご確認ください。

なお、授業時間は、次のとおりです。

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜１限（６限）	夜２限（７限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

（試聴授業）

4　初回の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書」を**９月６日（金）から９月25日（水）まで**に五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴期間）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

試聴期間：平成25年10月２日（水）～10月８日（火）

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料

・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

五福キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学社会貢献グループ地域連携チーム
〒930-8555　富山市五福3190
ＴＥＬ　076－445－6956　ＦＡＸ　076－445－6033
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が 9,300 円以外の科目があります。**

その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。

また、複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。既に受講証の交付を受けている場合には、手続きの際に受講証をご提示ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。携帯サイトへはパソコンからもアクセスできます。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができます。利用の際には、受講証をご提示ください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　科目によっては当該保険に必ず加入していただく科目がありますのでご注意願います。
加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に、施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

（総合案内先、問い合わせ先）

1　「オープン・クラス」に関するお問い合わせは、下記五福キャンパス受講生窓口までお願いします。

富山大学社会貢献グループ　地域連携チーム
〒930-8555　富山市五福3190
TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033
ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/
Eメール　lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp
通常は月曜日から金曜日の8：30から17：15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Webシラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

また、五福キャンパス受講生窓口においても自由にご覧いただくことができます。

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○教養教育	
学務グループ教養教育チーム	TEL 076-445-6031
○人文学部	
人文系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6138
○人間発達科学部	
人間発達系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6258
○経済学部	
経済系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6517
○理学部	
理学系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6546
○工学部	
工学系支援グループ教務担当	TEL 076-445-6698

3　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

4　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

＊教室については、試聴日に、学務部（教養教育）の掲示板で、あるいは受講生窓口（地域連携チーム）にて、必ずご確認ください。

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	募集定員	難易度	備考
1	哲学のすすめ	市 村 俊 信	木・5	制限なし	A	
2	人間と倫理	澤 田 哲 生	火・5	10	A	
3	こころの科学	黒 川 光 流	火・5	5	A	
4	こころの科学	喜 田 裕 子	木・5	3	A	
5	現代と教育	林 衛	火・2	5	A	
6	現代と教育	藤 田 公仁子	火・5	10	A	
7	日本の歴史と社会	久 保 尚 文	木・5	5	A	
8	日本の歴史と社会	高 橋 浩 二	火・1	5	A	
9	東洋の歴史と社会	澤 田 稔	月・6	5	A	
10	西洋の歴史と社会	大 西 吉 之	月・2	5	A	
11	日本文学	奥 野 美友紀	火・1	5	A	
12	日本文学	金 子 幸 代	火・2	若干名	A	
13	外国文学	吉 田 泉	火・5	5	A	
14	言語と文化	呉 人 恵	火・1	5	A	
15	音楽	大 谷 多賀子	月・2	5	A	
16	現代社会論	橋 本 勝	火・5	5	A	
17	日本国憲法	樋 口 雄 人	月・2	5	A	
18	日本国憲法	栗 田 佳 泰	木・5	10	A	
19	国家と市民	辻 本 淳 史	火・5	5	A	
20	経済生活と法	高 田 寛	火・2	20	A	
21	経済生活と法	中 出 孝 典	木・5	3	A	
22	市民生活と法	木 原 淳	火・5	5	A	
23	はじめての経済学	ﾓｳﾞｼｭｸ･ｵﾚｸｻﾝﾀﾞｰ	月・2	10	A	
24	市場と企業の関係	水谷内 徹 也	火・2	5	A	
25	市場と企業の関係	坂 田 博 美	水・7	5	A	
26	地域の経済と社会・文化	山 根 拓	火・5	5	A	
27	地球と環境	鳥 養 祐 二	月・2	若干名	A	

学部等名：教養教育

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
28	地球と環境	丸　茂　克　美	火・1	10	A	
29	生命の世界	前　川　清　人	月・2	5	A	
30	化学物質の世界	林　　直　人	月・2	5	A	
31	化学物資の世界	原　　正　憲	木・5	3	A	
32	物理の世界	田　山　　孝	金・6	5	A	
33	材料の科学	佐　伯　　淳	火・5	5	A	
34	生活の科学	神　川　康　子	火・5	5	A	
35	生活の科学	高　松　　衛	月・6	3	A	
36	ドイツ語Ｂ（4）	阿　部　美　規	月・4	5	B	
37	ドイツ語Ｂ（4）	ウォルフガング　ツォウベク	水・4	3	B	
38	フランス語Ｂ（4）	近　藤　壽　良	金・4	10	B	
39	ロシア語Ｂ（4）	青　木　恭　子	月・2	5	B	
40	ロシア語Ｂ（4）	カザケーヴィッチ・ヴェチェスラフ	金・3	5	B	
41	中国語Ｂ（4）	楊　　峰	火・4	5	B	
42	中国語Ｂ（4）	応　　広　建	金・4	5	B	
43	ラテン語Ｂ（4）	松　崎　一　平	月・2	制限なし	B	
44	健康・スポーツ論	布　村　忠　弘	月・1	10	A	6,300 円 (7.5 週)
45	健康・スポーツ論	福　島　洋　樹	月・2	10	A	6,300 円 (7.5 週)
46	健康・スポーツ論	大　川　信　行	月・4	5	A	6,300 円 (7.5 週)
47	健康・スポーツ論	福　島　洋　樹	月・4	10	A	6,300 円 (7.5 週)
48	健康・スポーツ論	山　崎　先　也	木・1	5	A	6,300 円 (7.5 週)
49	健康・スポーツ論	山　崎　先　也	木・2	5	A	6,300 円 (7.5 週)
50	健康・スポーツ論	堀　田　朋　基	木・3	5	A	6,300 円 (7.5 週)
51	言語表現	佐　山　三千雄	金・2	5	A	
52	言語表現	坂　　幸　夫	火・3	5	A	
53	コロキアム（競馬学）	立　川　健　治	月・5	5	A	
54	コロキアム（世界の映画）	末　岡　　宏	月・5	10	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	哲学講読	永　井　龍　男	木・1	人文３	3	A	
2	西洋古典語	永　井　龍　男	月・5	人文 601	3	B	
3	西洋思想史	永　井　龍　男	火・3	人文１	5	B	
4	哲学講読	池　田　真　治	月・2	人文３	3	A	
5	哲学特殊講義	池　田　真　治	月・4	人文３	5	B	
6	西洋思想史	池　田　真　治	金・3	人文１	5	B	
7	人間学演習Ⅰ	松　崎　一　平	水・2	人文 601	制限なし	B	英語のテキストを使用します。
8	宗教思想	松　崎　一　平	木・2	人文２	制限なし	A	
9	人間学演習Ⅰ	田　畑　真　美	木・4	人文 601	5	C	
10	人間学講読	田　畑　真　美	金・1	人文 601	3	A	
11	人間科学講読	湯　川　純　幸	月・4	人文 701	制限なし	B	
12	言語学特殊講義Ｅ	樋　野　幸　男	金・4	人文２	5	B	
13	心理学概論Ⅰ	喜　田　裕　子 黒　川　光　流 坪　見　博　之	金・5	人文４	5	A	
14	心理学特殊講義	坪　見　博　之	木・2	人文１	5	B	・パソコン使用 moodle を利用し，資料を電子配付します。
15	日本史基礎演習	鈴　木　景　二	月・5	人文１	3	A	
16	日本史概説Ⅰ	鈴　木　景　二	水・1	人文４	5	B	
17	日本史特殊講義	熊　谷　隆　之	木・3	人文２	5	B	
18	古文書学実習	熊　谷　隆　之	金・5	人文２	5	B	
19	歴史文化特殊講義	澁　谷　由　里	木・4	人文３	5	B	初めて受講する方を優先します。学生と一緒に，初回に履修レベル確認テストを受けていただきます。
20	西洋史講読	漆　間　真由美	火・3	人文 604	3	B	
21	考古学特殊講義	高　橋　浩　二	木・5	人文１	3	B ～ C	パソコン使用
22	社会学概論	伊　藤　智　樹	金・1	人文６	5	A	
23	人文地理学概論	大　西　宏　治	木・2	人文４	5	A	パソコン使用
24	国際関係論特殊講義	竹　村　　卓	木・5	人文３	5	B	・レポートの提出または試験の受験を求めます。 ・国際関係論（政治学）と同時限開講。
25	国際関係論（政治学）	竹　村　　卓	木・5	人文３	5	B	・レポートの提出または試験の受験を求めます。 ・国際関係論特殊講義と同時限開講。
26	比較文化概論	金　子　幸　代	火・4	人文４	3	A	
27	比較文化演習	金　子　幸　代	木・4	人文 419	2	B	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
28	比較文化実習	金　子　幸　代	木・3	人文 419	2	B	
29	国際文化概論	吉　田　俊　則 末　岡　　宏 齊　藤　大　紀 小　野　直　子	木・4	人文 6	教室に収容可能範囲内	B	
30	日本の歴史と思想	立　川　健　治	火・3	人文 6	5	B	
31	日本文化演習	立　川　健　治	火・4	人文 502	3	B	
32	外国語演習（中国語）	齊　藤　大　紀	月・3	人文 LL	5	B	初級中国語を習得していること。
33	中国文化演習	齊　藤　大　紀	月・4	人文 502	5	B	
34	ロシア文化講読	青　木　恭　子	火・1	人文 502	5	B	
35	日本文学特殊講義	二　村　文　人	木・5	人文 4	5	B	
36	日本文学特殊講義	呉　羽　　長	水・2	人文 6	3	C	
37	日本文学特殊講義 （万葉集）	坂本　信幸　他	木・2	共通 B21	10	B	
38	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　　有　宰	火・1	人文 211	3	B	
39	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　　有　宰	火・2	人文 211	3	B	
40	中国語学概論	森　賀　一　恵	木・3	人文 417	5	A	
41	中国言語文化演習	大　野　圭　介	金・3	人文 417	3	B	現代中国語を習得していることを前提として授業を行います。
42	中国言語文化講読	大　野　圭　介	月・4	人文 417	3	B	
43	中国語コミュニケーション（会話）	夏　　嵐	水・4	人文 417	3	B	水曜２限目の同授業科目名・同教員担当の授業は，オープンクラス対象外です。
44	英米言語文化演習Ⅰ	大工原　ちなみ	月・2	人文 2	３名程度	B	
45	英米言語文化講読Ⅱ	大工原　ちなみ	火・2	人文 212	３名程度	C	
46	英語学講読Ⅱ	奥　村　　譲	金・2	人文 2	3	C	
47	英米言語文化特殊講義	恒　川　正　巳	火・4	人文 1	4	B	
48	英米言語文化演習Ⅱ	恒　川　正　巳	金・4	人文 1	4	C	
49	英語学講読Ⅱ	藤　川　勝　也	火・4	人文 212	3	C	
50	英米言語文化演習Ⅰ	藤　川　勝　也	金・3	人文 214	3	C	
51	ドイツ言語文化講読Ⅰ	別　本　明　夫	金・2	人文 LL	3	B	
52	ドイツ言語文化講読Ⅱ	別　本　明　夫	火・3	人文 2	2	C	
53	ドイツ文学史	別　本　明　夫	火・4	人文 416	3	A	
54	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・3	人文 416	3	B	
55	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・1	人文 416	3	C	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
56	ドイツ語コミュニケーション（作文）初級	ヴォルフガング ツォウベク	水・3	人文 416	2	B	
57	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ヴォルフガング ツォウベク	水・2	人文 416	2	C	
58	ドイツ言語文化演習Ⅰ	ヴォルフガング ツォウベク	火・2	人文 416	2	B	
59	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（2）	ヴォルフガング ツォウベク	金・3	人文 416	3	B	
60	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（2）	ヴォルフガング ツォウベク	金・2	人文 416	3	C	
61	ロシア言語文化演習Ⅱ	中　澤　敦　夫	木・3	人文 316	5	C	
62	ロシア言語文化講読Ⅰ	中　澤　敦　夫	木・2	人文 316	5	B	
63	ロシア語学概論	中　澤　敦　夫	月・4	人文 316	5	B	
64	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・3	人文 316	5	B	
65	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・2	人文 316	5	C	
66	実践ロシア語演習Ⅲ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	金・2	人文 316	5	C	
67	ロシア文化論	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	金・4	人文 316	5	C	
68	ロシア言語文化特殊講義	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・4	人文 316	5	C	
69	視聴覚教育メディア論	黒　田　　卓	火・5	人文 1	5	B	パソコン使用

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	発達臨床心理学	下　田　芳　幸	火・2	人間実践センター	3	B	
2	心理学研究法	村　上　宣　寛	火・4	人間 142	3	B	
3	臨床心理学	石　津　憲一郎	月・2	人間実践センター	3	B	(注1)
4	心理学教育論	小　川　　亮	木・1	人間実践センター	3	B	パソコン使用
5	情報処理心理学	村　上　宣　寛	木・3	人間 113	3	B	
6	発達心理学	姜　　信　善	木・4	人間 141	3	A	
7	学級集団心理学	佐　藤　　徳	金・1	人間 141	5	A	
8	認知心理学	小　川　　亮	金・5	人間端末室	3	B	パソコン使用
9	地域交流活動論	隅　　敦	木・1	人間 332	10	A	
10	家庭支援論	西　館　有　沙	月・1	人間 113	5	B	
11	保育の心理学Ⅰ	小　林　　真	月・5	人間 113	3	A	
12	保育内容（健康）	堀　田　朋　基	火・1	人間 331	3	A	
13	保育内容総論	若　山　育　代	火・4	人間 111	3	B	
14	軽度発達障害児教育総論	水　内　豊　和	火・4	人間 114	3	B	
15	社会的養護	西　館　有　沙	火・4	人間 113	3	B	
16	社会的養護内容	阿　部　美穂子	木・1	人間 142	3	C	
17	就労支援論	志　賀　文　哉	木・3	人間 116	5	B	
18	保育原理	西　館　有　沙	木・4	人間 113	5	A	
19	社会福祉概論Ⅰ	志　賀　文　哉	金・1	人間 331	5	A	
20	社会学	志　賀　文　哉	金・4	人間 113	5	A	
21	幼児理解と相談支援	小　林　　真	金・5	人間 111	10	A	
22	地域と健康	布村　忠弘　他	木・2	人間 311	10	B	
23	運動生理学	堀　田　朋　基	月・1	人間 331	5	B	
24	スポーツ運動学	佐　伯　聡　史	火・3	人間 311	5	B	
25	解剖学	布　村　忠　弘	火・4	人間 332	5	A	
26	スポーツ動作分析法	堀　田　朋　基	火・4	人間 311	5	B	
27	スポーツ史	大　川　信　行	水・1	人間 331	3	B	
28	学校と健康	布　村　忠　弘	木・4	人間 332	10	B	
29	スポーツ心理学	福　島　洋　樹	金・2	人間 311	10	B	
30	スポーツ指導論	佐　伯　聡　史	金・2	人間 332	5	B	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
31	環境科学入門	片岡 弘 林 衛	水・2	人間 341	5	A	
32	環境とエネルギー	成行泰裕	月・1	人間各実験室	3	C	
33	気候環境論	田上善夫	月・1	人間 221	3	B	
34	子育てネットワーク論	西館有沙	月・1	人間 113	5	B	
35	ヒトの動きの機能解剖学	鳥海清司	火・1	人間 311	3	A	
36	化学物質の機能と環境	片岡 弘	火・2	人間各実験室	3	A	
37	地球表層変動学	椚座圭太郎	火・4	人間各実験室	3	B	
38	カラーコーディネート論	秋月有紀	火・4	人間 211	3	B	
39	人間安全保障論	佐藤幸男	水・2	人間 113	5	B	
40	科学技術社会論	林 衛	木・1	人間端末室	5	A	パソコン使用
41	生活工学	秋月有紀	木・1	人間 211	3	B	
42	都市景観論	秋月有紀	木・2	人間 211	3	B	
43	地域企業論	根岸秀行	木・3	共通棟 A41	3	B	
44	生活環境デザイン	神川康子	木・3	人間 211	5	A	
45	基礎生物学	安本史恵	木・4	人間各実験室	5	B	
46	環境と行政	高橋満彦	木・4	人間 111	3	B	
47	ヨーロッパ地域史論	徳橋 曜	金・2	人間 211	5	B	
48	環境コミュニケーション論	林 衛	金・2	人間各演習室	3	B	パソコン使用
49	身体の形態と機能の測定	鳥海清司	金・3	人間 332	3	B	
50	ネットワーク社会史論	徳橋 曜	金・3	人間 112	5	B	
51	環境歴史学	徳橋 曜	金・4	人間 221	5	B	
52	社会学概論	志賀文哉	金・4	人間 113	5	A	
53	コンピュータ概論	黒田 卓	火・1	人間 341	3	A	
54	基本統計	山口範和	火・2	人間 331	3	B	
55	情報幾何学	山口範和	火・3	人間 331	3	B	
56	メディア芸術論	鼓 みどり	火・3	人間 342	3	B	
57	基本プログラミング	竹村 哲	水・1	総合情報基盤センター 2F	3	A	パソコン使用
58	テクニカル・ライティング	黒田 卓	木・1	総合情報基盤センター 3F	3	A	パソコン使用
59	数理システム概論	山口範和	木・2	人間 331	3	A	
60	メディアコミュニケーション概論	鼓 みどり	木・2	総合情報基盤センター 2F	3	A	パソコン使用

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
61	翻訳・創作論	内　藤　亮　一	木・3	人間 332	3	B	
62	線形システム概論	大　森　克　史	木・4	人間 221	3	B	
63	教育工学概論	山　西　潤　一	金・2	人間 341	3	B	
64	情報教育概論	山　西　潤　一	金・4	人間 341	3	B	

（注 1）ただし、精神科に通院していた方や、現在精神科の治療を受けている方は、担当教員と事前に相談してください

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

＊教室については、試聴日に、経済学部の掲示板で、あるいは受講生窓口（地域連携チーム）にて、必ずご確認ください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
1	ミクロ経済学Ⅱ	若林丈靖	月・1 木・3	3	C	13,300円
2	会社法	石田眞	月・1 木・3	5	B	13,300円
3	アジア経済論	王大鵬	月・2 木・2	3	B	13,300円
4	経営史	長谷部宏一	月・2 木・2	3	A	13,300円
5	刑法	秋葉悦子	月・2 木・2	若干名	B	13,300円
6	計量経済学	唐渡広志	月・3 金・2	3	B	13,300円 パソコン使用
7	景気循環論	星野富一	月・4	5	B	
8	地域社会学Ⅱ	高山龍太郎	月・4	5	B	
9	労働経済論	坂幸夫	火・1 水・2	5	C	13,300円 パソコン使用
10	経済学入門	岩田真一郎	火・2	5	A	パソコン使用
11	経済学入門	中村和之	火・2	5	A	
12	オペレーションズ・リサーチ	横山一憲	火・2 火・3	5	B	13,300円
13	経済史総論	大西吉之	火・3 金・1	3	B	13,300円
14	経営システム	古川勝	火・3 金・1	5	C	13,300円
15	国際金融論	久保彰宏	火・4 木・1	5	B	13,300円
16	環境経済学	龍世祥	水・1 金・3	10	B	13,300円
17	手形小切手法	志津田一彦	水・1 金・3	5	B	13,300円
18	証券市場論	本間哲志	金・3	10	B	
19	社会経済学概論	星野富一	金・4	5	A	
20	経営学特殊講義　財務分析論	鈴木基史 森口毅彦	金・4	5	B	
21	物権法	香川崇	月・3 金・2	3	C	13,300円
22	外国書講読Ⅱ	大坂洋	金・4	3	B	パソコン使用
23	経営経済の基礎数学Ⅱ	白石俊輔	月・4	5	A	
24	特殊講義 キャリア・デザイン論	船橋伸一	木・3	10	B	
25	国際経済学	垣田直樹	火・6 火・7	3	A	13,300円
26	消費者行動論	坂田博美	火・6 火・7	10	B	13,300円 パソコン使用
27	政治経済学	小倉利丸	水・6 水・7	5	B	13,300円
28	人的資源管理	馬駿	水・6 水・7	5	B	13,300円

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
29	財産法Ⅱ	橋　口　賢　一	水・6 水・7	5	B	13,300円
30	法学入門	岩　本　　学 中　出　孝　典	木・6 木・7	3	A	13,300円
31	国際取引法	立　石　孝　夫	木・6 木・7	10	B	13,300円
32	地域経済論	小柳津　英　知	金・6 金・7	5	B	13,300円
33	現代企業論	水谷内　徹　也	金・6 金・7	5	B	13,300円
34	商法	高　田　　寛	金・6 金・7	10	A	13,300円 パソコン使用

○大学院

学部等名：大学院経済学研究科

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	募集定員	難易度	備　考
1	社会を支える数理	横　山　一　憲	土曜日に開講予定のインテックとの寄附講座です。詳細が決まり次第、別途パンフレット、HP にてお知らせします。			

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	幾何学Ⅱ	数学科	古田高士	水・2	理A238	若干名	C	(注1)
2	実解析学	数学科	藤田安啓	月・3	理A239	若干名	C	(注1)
3	微分方程式論	数学科	吉田範夫	金・3	理A239	若干名	C	(注1)
4	数値解析学	数学科	上田肇一	木・4	理A238	若干名	C	(注1)
5	情報数理	数学科	古田高士	金・2	理A239	若干名	C	(注1)
6	微分積分学B	数学科	久保文夫	金・4	理A336	若干名	C	(注1)
7	解析学Ⅱ	数学科	池田榮雄	月・4	理A337	若干名	C	(注1)
8	線形代数学B	数学科	山根宏之	木・1	理A337	若干名	C	(注1)
9	線形代数学Ⅱ	数学科	木村巖	火・1	理A336	若干名	C	(注1)
10	解析学Ⅴ	数学科	濱名正道	木・3	理A238	若干名	C	(注1)
11	代数学Ⅰ	数学科	山根宏之	金・5	理A238	若干名	C	(注1)
12	位相空間論Ⅰ	数学科	永井節夫	水・1	理A238	若干名	C	(注1)
13	複素解析学Ⅰ	数学科	阿部幸隆	月・2	理A238	若干名	C	(注1)
14	実解析学Ⅰ	数学科	出口英生	水・5	理A239	若干名	C	(注1)
15	微分方程式論Ⅰ	数学科	藤田安啓	火・2	理A238	若干名	C	(注1)
16	物理学序説Ⅱ	物理学科	桑井智彦	木・4	未定	5	A	パソコン使用
17	物理学概論Ⅱ	物理学科	石川義和	木・4	未定	3名程度	A	パソコン使用
18	力学序論	物理学科	石川義和	火・1	理A239	若干名	A	
19	物理数学A	物理学科	栗本猛	金・4	理A238	5	C	
20	力学Ⅱ	物理学科	兼村晋哉	金・3	理A337	5	B	パソコン使用
21	電磁気学Ⅰ	物理学科	森脇喜紀	火・2 金・2	理A337	5	A	13,300円 パソコン使用
22	熱力学	物理学科	田山孝	火・4	理A337	若干名	B	パソコン使用
23	統計力学	物理学科	飯田敏	月・1 火・3	理A239	5	C	・熱力学の内容，力学，電磁気学，量子力学の初歩的内容を修得していること。 ・パソコン使用 ・13,300円
24	量子力学Ⅱ	物理学科	兼村晋哉	月・2	理A239	若干名	C	パソコン使用
25	物性物理学A	物理学科	池本弘之	火・2	理C104	若干名	B	パソコン使用
26	核・素粒子物理学A	物理学科	兼村晋哉	金・2	理A336	5	C	パソコン使用
27	電磁波物理学	物理学科	小林かおり	水・2	理A424	5名程度	B	量子力学あるいは量子化学の初歩を習得していること。
28	化学概論Ⅱ	化学科	宮澤眞宏	木・3	理A424	5名程度	A	パソコン使用

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
29	化学概論Ⅱ	化学科	林　直人	木・3	未定	5名程度	A	
30	放射線基礎学	化学科	鳥養祐二	火・1	未定	若干名	A	
31	化学熱力学Ⅰ	化学科	岩村宗高	金・4	理C104	5名程度	A	
32	量子化学Ⅰ	化学科	野崎浩一	火・1	理A238	5名程度	B	
33	有機化学Ⅰ	化学科	樋口弘行	月・5	理A424	5名程度	A	
34	化学反応学	化学科	大澤　力	水・1	理A239	若干名	B	
35	無機化学Ⅰ	化学科	柘植清志	月・2	理A337	5名程度	A	
36	構造有機化学	化学科	林　直人	月・1	理A337	5名程度	B	
37	反応有機化学	化学科	横山　初	金・2	理A424	5名程度	B	
38	化学平衡学	化学科	松山政夫	火・1	理C203	若干名	B	化学熱力学を受講済みであること。
39	溶液化学	化学科	鈴木　炎	金・2	理C204	若干名	C	
40	材料科学	化学科	波多野雄治	火・2	理C203	10名程度	B	
41	合成有機化学	化学科	平井美朗	木・2	理C104	5名程度	B	
42	基礎動物形態学	生物学科	内山　実	火・1	理C105	3	A	
43	基礎細胞遺伝学	生物学科	岩坪美兼	金・5	理C203	5	B	
44	動物生理学	生物学科	菊川　茂	木・2	理C105	若干名	B	
45	植物生理学	生物学科	唐原一郎	水・2	理C105	5	B	
46	発生制御学	生物学科	若杉達也	火・1	理A337	5	C	
47	分子遺伝学	生物学科	山田恭司	木・1	理C105	5	B	
48	地球科学概論Ⅱ	地球科学科	竹内　章 島田　亙 柏木健司	金・1	未定	若干名	A	
49	地球科学概論Ⅱ	地球科学科	清水正明 渡邊　了 安永数明	金・1	未定	若干名	A	
50	一般地質学	地球科学科	大藤　茂	火・1	理A424	若干名	A	
51	地球流体力学	地球科学科	安永数明	火・3	理A238	最大5名まで	C	
52	古生物学	地球科学科	柏木健司	月・4	理A239	若干名	B	
53	岩石学	地球科学科	石崎泰男	木・1	理C104	若干名	B	
54	構造地質学	地球科学科	竹内　章	金・2	理A238	若干名	B	
55	雲物理学	地球科学科	青木一真	火・2	理A425	若干名	C	
56	環境基礎生物学A	生物圏環境科学科	中村省吾	金・3	理A336	若干名	B	

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
57	環境基礎化学	生物圏環境科学科	波　多　宣　子	月・５	理Ｃ１０４	若干名	A	
58	生態学	生物圏環境科学科	石　井　　博	木・１	理Ａ２３９	若干名	B	
59	植物生態学	生物圏環境科学科	和　田　直　也	月・３	理Ａ３３６	若干名	B	
60	環境化学計測	生物圏環境科学科	倉　光　英　樹	火・２	理Ａ４２４	若干名	B	
61	生理化学	生物圏環境科学科	蒲　池　浩　之	水・２	理Ａ３３６	若干名	B	
62	保全生物学	生物圏環境科学科	横　畑　泰　志	水・１	理Ａ４２５	若干名	B	
63	環境地球化学	生物圏環境科学科	上　田　　晃	火・１	理Ｃ１０４	若干名	B	

（注１）当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	電子物性工学３	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	月・1	工 207	5	B	
2	量子力学２	電気電子システム工学科	小　野　行　徳	月・2	工 210	5	B	
3	電気回路１	電気電子システム工学科	飴　井　賢　治	月・3	工 210	5	A	
4	ディジタル電子回路	電気電子システム工学科	坂　上　岩　太	火・1	工 205	5	B	
5	アナログ電子回路２	電気電子システム工学科	中　島　一　樹	火・2	工 205	5	B	
6	集積回路工学	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	火・2	工 210	若干名	B	
7	電子物性工学１	電気電子システム工学科	丹　保　豊　和	火・3	工 206	若干名	B	
8	熱・波動	電気電子システム工学科	山　下　正　人	火・4	共 D22	5	A	
9	半導体デバイス１	電気電子システム工学科	前　澤　宏　一	火・4	工 205	若干名	B	
10	電力応用工学	電気電子システム工学科	作　井　正　昭	水・1	工 103	5	B	
11	電気エネルギー工学２	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	月・2	工 103	若干名	B	
12	電気数学３	電気電子システム工学科	山　下　正　人	水・2	共 D22	5	B	
13	信号処理工学	電気電子システム工学科	荏　戸　立　夫	木・1	工 207	5	C	
14	電磁気学１	電気電子システム工学科	中　　茂　樹	金・1	工 105	5	B	
15	電磁波工学２	電気電子システム工学科	坂　上　岩　太	金・2	工 210	5	B	
16	電気機器工学１	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	金・3	工 210	5	B	
17	システム制御工学２	電気電子システム工学科	チャピ　ゲンツィ	金・3	工 103	若干名	C	
18	計算機工学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	金・4	共 D12	5	A	
19	電磁気学１	電気電子システム工学科	森　　雅　之	金・1	工 210	5	B	
20	工学特論（先進送配電工学）	電気電子システム工学科	田　中　和　幸	水・2	工 205	5	C	
21	デジタル信号処理	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・2	工 108	10	B	
22	知的システム	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	月・3	工 108	5	B	
23	ブレインコンピューティング	知能情報工学科	田　端　俊　英	金・1	工 108	若干名	B	
24	数値解析	知能情報工学科	吉　澤　壽　夫	月・4	工 207	5	B	
25	組込みシステム	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・4	工 108	10	C	
26	離散数学	知能情報工学科	菊　島　浩　二	火・4	工 106	5	A	
27	プログラミング言語論	知能情報工学科	村　山　立　人	火・1	工 108	5	B	
28	電子回路工学	知能情報工学科	田　端　俊　英	火・2	工 106	若干名	B	
29	情報セキュリティ	知能情報工学科	田　島　正　登	火・2	工 108	5	C	
30	マルチメディア工学	知能情報工学科	唐　　政	月・3	工 106	10	C	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
31	微分積分Ⅱ	知能情報工学科	角　畠　　浩	水・2	共 D12	10	A	
32	計算論	知能情報工学科	西　田　泰　伸	水・3	工 108	5	C	
33	プログラミングⅡ	知能情報工学科	酒　井　　充	木・4	共 C11	若干名	B	プログラミングⅠ相当の知識が必要となります。
34	通信システム	知能情報工学科	菊　島　浩　二	木・4	工 210	5	B	
35	オペレーティングシステム	知能情報工学科	高　松　　衛	金・4	工 108	5	B	
36	材料力学第２	機械知能システム工学科	木　田　勝　之	金・4	工 205	5	B	
37	自動車工学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆 川　口　清　司 小　熊　規　泰 高須賀　祥　隆 金　子　　誠	月・3	工 103	若干名	B	
38	基礎材料工学	機械知能システム工学科	高　辻　則　夫	火・1	工 103	5	B	
39	複素解析学	機械知能システム工学科	松　島　紀　佐	火・1	工 210	10	B	
40	流体力学	機械知能システム工学科	川　口　清　司	火・1	工 206	5	B	
41	環境工学概論	機械知能システム工学科	平　澤　良　男	水・1	工 103	5	B	
42	化学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	水・2	共 D11	若干名	A	
43	数値解析	機械知能システム工学科	瀬　田　　剛	水・2	工 105	5	B	
44	計測工学・精密測定学演習	機械知能システム工学科	三　原　　毅 田　代　発　造	木・1	工 106	5	B	
45	基礎熱力学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	木・3	工 210	若干名	B	
46	力学第２	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	木・4	共 D22	5	A	
47	強度設計工学	機械知能システム工学科	笠　場　孝　一	木・4	工 103	5	B	パソコン使用
48	シミュレーション工学	機械知能システム工学科	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・3	情報基盤センター4階・第4端末室	若干名	B	パソコン使用
49	応用数学第１	機械知能システム工学科	瀬　田　　剛	月・3	共 C22	5	A	
50	ロボット工学	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	金・4	工 206	5	B	
51	基礎情報工学	機械知能システム工学科	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・5	工 205	若干名	A	
52	応用数学	生命工学科	黒　岡　武　俊	火・5	工 206	10	B	
53	基礎生理学	生命工学科	黒　澤　信　幸	火・3	工 108	若干名	B	
54	化学生物分離工学	生命工学科	川　崎　博　幸	水・2	工 202	3	C	
55	健康・福祉工学	生命工学科	中　村　真　人	月・4	工 203	5	B	
56	細胞代謝学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	火・1	工 209	10	B	
57	データ解析概論	生命工学科	黒　岡　武　俊	火・2	工学部端末室	若干名	B	パソコン使用
58	環境衛生工学	生命工学科	山　本　辰　美	火・2	工 202	若干名	B	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
59	化学生物物質移動論	生命工学科	川　崎　博　幸	火・4	工 103	3	B	
60	生物化学工学Ⅱ	生命工学科	森　　英　利	火・4	工 107	5	A	
61	細胞生物学	生命工学科	篠　原　寛　明	水・1	工 208	若干名	B	
62	システム工学	生命工学科	黒　岡　武　俊	月・2	工 208	10	B	
63	生化学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	木・1	工 209	10	B	
64	遺伝子工学Ⅰ	生命工学科	高　崎　一　朗	木・2	工 206	5	B	
65	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	木・3	工 202	若干名	B	
66	基礎生物学	生命工学科	磯　部　正　治	木・4	工 207	若干名	A	
67	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	木・4	工 202	若干名	B	
68	生物反応工学	生命工学科	星　野　一　宏	金・2	工 202	5	B	
69	物理化学Ⅰ	生命工学科	森　　英　利	金・4	工 210	5	B	
70	無機化学Ⅰ	生命工学科	篠　原　寛　明	火・1	共 E21	若干名	A	
71	生体計測工学	生命工学科	川　原　茂　敬	火・1	工 207	5	B	
72	高分子物性化学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	月・2	工 207	10	C	
73	工学特論 （分子固体物性工学）	環境応用化学科	宮　崎　　章	月・2	工 203	10	C	パソコン使用
74	化学工学概論	環境応用化学科	劉　　貴　慶	火・2	工 105	5	B	
75	分子構造解析演習	環境応用化学科	遠　田　浩　司	火・2	工 206	5	C	
76	高分子合成化学	環境応用化学科	北　野　博　巳	火・3	工 207	5	B	
77	工学特論（有機分子工学）	環境応用化学科	堀　野　良　和	水・1	工 206	若干名	B	
78	生化学Ⅱ	環境応用化学科	小　野　　慎	水・2	工 203	若干名	B	
79	界面材料工学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	水・2	工 204	10	C	
80	有機合成化学	環境応用化学科	阿　部　　仁	水・1	工 203	若干名	B	
81	機器分析	環境応用化学科	遠　田　浩　司	木・2	工 207	5	C	
82	反応工学	環境応用化学科	椿　　範　立	木・3	工 105	若干名	B	
83	量子分子工学	環境応用化学科	吉　村　敏　章	金・2	工 102	若干名	B	
84	分析化学	環境応用化学科	加賀谷　重　浩	金・4	工 207	5	A	
85	無機材料化学	環境応用化学科	會　澤　宣　一	月・5	工 105	5	C	
86	無機化学	環境応用化学科	會　澤　宣　一	金・5	工 108	5	A	
87	有機材料工学	環境応用化学科	米　山　嘉　治	金・3	工 202	5	B	

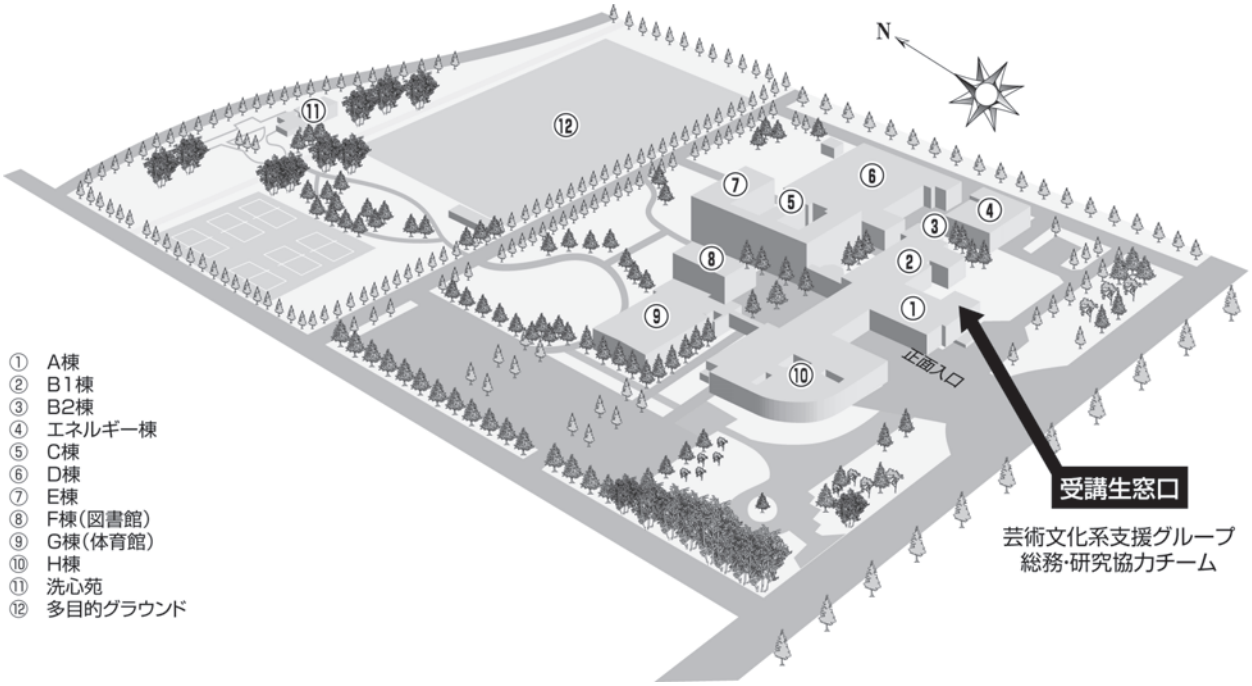
学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
88	粉体工学	材料機能工学科	高　瀬　　均	木・2	工 103	5	B	
89	相変態序説Ⅰ	材料機能工学科	松　田　健　二	月・2	工 205	若干名	B	
90	結晶構造解析学	材料機能工学科	佐　伯　　淳	木・4	工 201	3	B	
91	微粒子工学	材料機能工学科	高　瀬　　均	月・5	工 201	5	C	
92	材料機能工学演習Ⅲ	材料機能工学科	柴　柳　敏　哉 高　瀬　　均 吉　田　正　道 山　根　岳　志	火・2	工 208	5	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス


N
⑪
⑫
⑦
⑤
⑥
④
③
⑧
②
⑨
①
⑩
正面入口
受講生窓口
芸術文化系支援グループ
総務･研究協力チーム
① A棟
② B1棟
③ B2棟
④ エネルギー棟
⑤ C棟
⑥ D棟
⑦ E棟
⑧ F棟(図書館)
⑨ G棟(体育館)
⑩ H棟
⑪ 洗心苑
⑫ 多目的グラウンド

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P28 ～ P29 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 25 年 10 月 2 日（水）～　平成 26 年 2 月 3 日（月）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 25 年度後学期授業日程」でご確認ください。

なお、授業時間は次のとおりです。

時　限	1	2	3	4	5
時　間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書」を **９月６日（金）から９月25日（水）まで** に下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

高岡キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学芸術文化系支援グループ総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL：0766-25-9138　FAX：0766-25-9212
通常は月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。

試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料

・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等の写し

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。

受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が 9,300 円以外の科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用願います。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は学務チーム掲示板（A棟１階　学務チーム入り口前）で行います。

受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。携帯サイトへはパソコンからもアクセスできます。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができますので、高岡キャンパス受講生窓口まで申し出てください。

（損害賠償）

6　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

7　科目によっては保険に必ず加入していただく科目がありますのでご注意願います。
加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

8　キャンパスには、駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回学務チームの掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

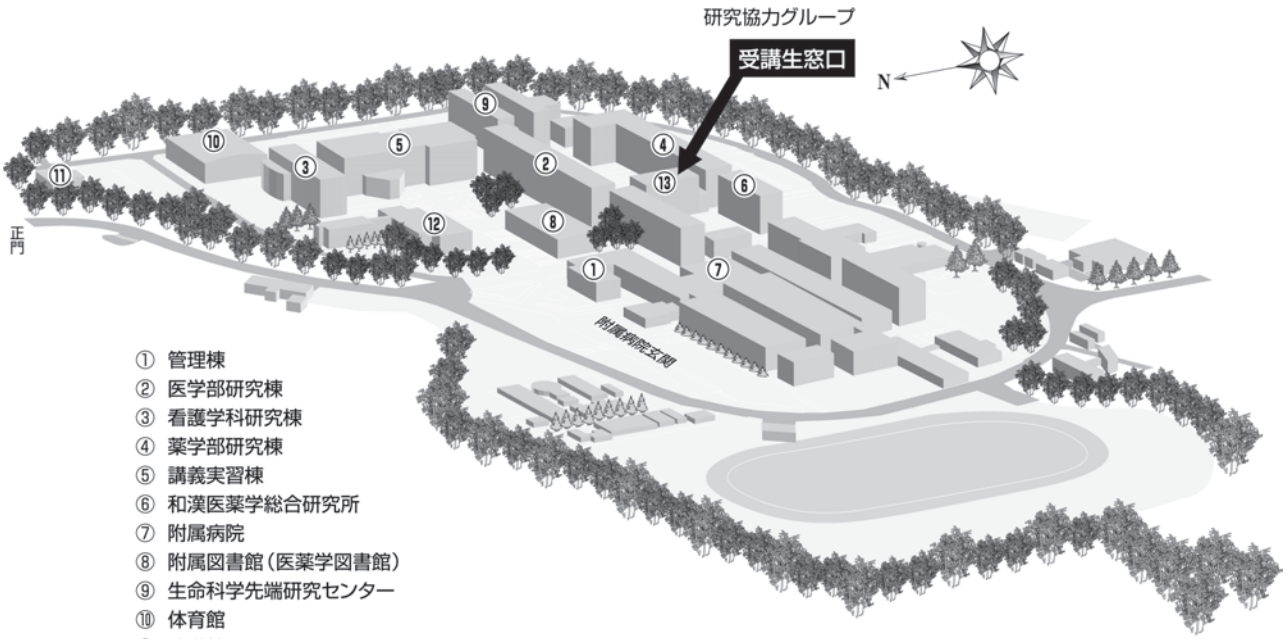
学部名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	建築とリサイクル	堀　江　秀　夫	月・1	B-212	10	A	10/7,21	
2	構造力学１	大　氏　正　嗣	月・1	B-117	3	A	10/7,21	
3	西洋演劇史	深　谷　公　宣	月・2	B-212	1～2名	A	10/7,21	
4	イングリッシュ・コミュニケーション中級２	B. ウィルソン	月・3	B-210	若干名	B	10/7,21	
5	展示・プレゼンテーション英語	渡　邉　康　洋	月・3	B-116	3名以下	B	10/7,21	英語を使っての発表が中心の授業です。
6	製品評価法	内　田　和　美	月・3	B-117	若干名	B	10/7,21	
7	塗料化学	村　田　　聡	火・2	E-456	若干名	B	10/8,15	
8	金属工芸技術史概論	三　船　温　尚	火・3	B-213	10	A	10/8,15	
9	インテリア家具構法	丸　谷　芳　正	火・3	B-116	若干名	B	10/8,15	
10	木質材料入門	堀　江　秀　夫	水・1	B-117	10	A	10/2,9	
11	造形材料（有機材料２）	村　田　　聡	水・1	E-456	若干名	B	10/2,9	
12	日本美術史Ａ	三　宮　千　佳	水・1	B-213	若干名	B	10/2,9	
13	文化政策各論Ｂ	古　池　嘉　和	木・5	C-437	若干名	B	10/3,10	
14	工芸・デザイン材料	堀　江　秀　夫 村　田　　聡 長　柄　毅　一	金・1	B-210	10	A	10/4,11	
15	デザインの世界	前　田　一　樹	金・1	B-212	若干名	B	10/4,11	
16	英米文学入門	深　谷　公　宣	金・2	B-116	1～2名	A	10/4,11	
17	中国の言語と文化	山　田　眞　一	金・4	B-210	若干名	C	10/4,11	中国語表音ローマ字（ピンイン）が正確に読め、中国語の辞書を引くことができること。
18	抽象立体表現	中　村　滝　雄	火・4～5	B-113	若干名	B	11/26,12/3	開講期間：11/26 ~ 1/28
19	サインデザイン演習	武　山　良　三	木・1～2	C-222	若干名	B	11/28,12/5	開講期間：11/28 ~ 1/30

※教室の収容人員の都合及びパソコン等機器の不足により受講できない場合があります。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス


研究協力グループ
受講生窓口
N
正門
附属病院玄関
① 管理棟
② 医学部研究棟
③ 看護学科研究棟
④ 薬学部研究棟
⑤ 講義実習棟
⑥ 和漢医薬学総合研究所
⑦ 附属病院
⑧ 附属図書館（医薬学図書館）
⑨ 生命科学先端研究センター
⑩ 体育館
⑪ 武道館
⑫ 福利・厚生棟
⑬ 共同利用研究棟

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P36 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合には受講できないことがあります。

（開講期間及び授業時間）

3　**開講期間は、平成 25 年 10 月２日の（水）～　平成 26 年２月３日（月）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の平成 25 年度後学期授業日程でご確認ください。

なお、授業時間は、次のとおりです。

時　限	1	2	3	4	5	夜１限（６限）	夜２限（７限）
時　間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書等）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。ただし、授業を所定回数受講された方には、修了証書を発行します。詳細は受講生窓口にお問い合わせください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項に添付してある「受講希望調書」を **９月６日（金）から９月25日（水）まで** に杉谷キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
杉谷キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。
受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。
・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

杉谷キャンパス受講生窓口は、次のとおりです。

富山大学研究協力グループ
〒930-0194　富山市杉谷2630
TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。
受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300円

（消費税込みです。**授業科目によっては受講料が9,300円以外の科目があります。**
その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。

また、複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。既に受講証の交付を受けている場合には、手続きの際に受講証をご提示ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話からも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。携帯サイトへはパソコンからもアクセスできます。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　受講生は、図書館の利用ができます。利用の際には、受講証をご提示ください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　科目によっては保険に必ず加入していただく科目がありますので、ご注意願います。
加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。なお杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。
自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

なお、「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

医薬系学務グループ　学部教務チーム　　TEL ０７６－４３４－７１２５

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（杉谷）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	統計数字の読み方	折　笠　秀　樹	火・2	大講義室	10	A	10/8 10/15	教科書（1冊2,800円）を購入してください。
2	数理科学	笹　野　一　洋	月・3	202	若干名	A	10/7 10/21	
3	線型代数学	笹　野　一　洋	火・2	302	若干名	A	10/8 10/15	
4	自然現象のモデル化とその解析	笹　野　一　洋	金・2	203	若干名	B	10/4 10/11	理系学部初年次レベルの解析学の知識を有すること。
5	現代物理学入門	山　口　直　洋	金・2	202	若干名	A	10/4 10/11	

○専門科目

学部等名：医学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	看護対象論	西　谷　美　幸	木・1	看護棟 11講義室	5	A～B	10/3	グループワーク等も含みますので，講義への参加方法について，試聴日等に担当教員に事前にご確認ください。
2	成長と発達	市田　蕗子　他	9/24　3・4限 9/30　3・4限 10/4　3限 10/8　3・4限 10/11　2限 10/15　3・4限 10/18　1限 10/22　3・4限 10/24　1・2限 11/8　1限	臨床講義室Ⅰ	若干名	B		グループワーク等も含みますので，講義への参加日程や試聴日等の詳細について事前にご相談ください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

平成　　年　　月　　日

富山大学公開授業　　受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		性　別	男・女
電　　話 （携帯電話）			
年　　齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。 e-mail			

富山大学公開授業として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学 部 名 等		
授 業 科 目	番　号 （　　）	
担 当 教 員		
授業曜日・時限	曜日　　限	

※　本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**９月６日（金）から９月 25 日（水）まで** に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送あるいは FAX も受付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写して使用願います。
　なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※　「オープン･クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、及び講師への情報提供にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

（切り取り線）

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話で授業の掲示情報が確認できます。

緊急情報、授業の休講・補講といった情報を携帯電話で確認することができます。

掲示情報（携帯サイト）の URL は、下記のとおりです。
http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

QR コードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左の QR コードからアクセスできます。

- 授業情報は、ヘルン・システム（学生向）の掲示情報と連動し、同じ内容のものを確認できます。
- 掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。
- 台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

＜留意事項＞
本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認願います。
なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

五福キャンパス

富山市五福3190

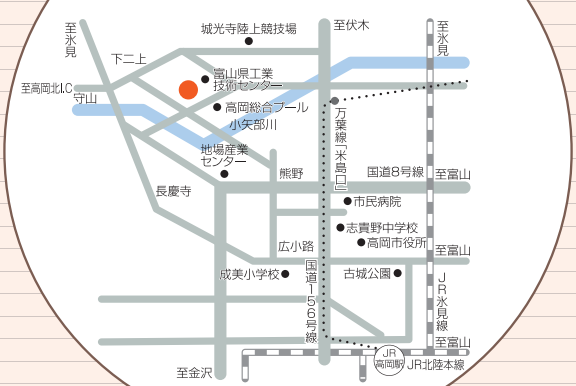
（人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部）



高岡キャンパス

高岡市二上町180

（芸術文化学部）



杉谷キャンパス

富山市杉谷2630

（医学部、薬学部）



富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555　富山市五福3190番地　TEL076-445-6956　FAX076-445-6033

ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/

Eメール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。